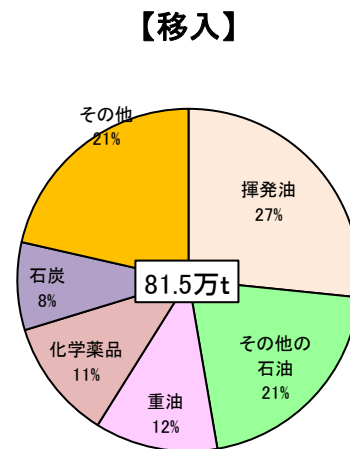
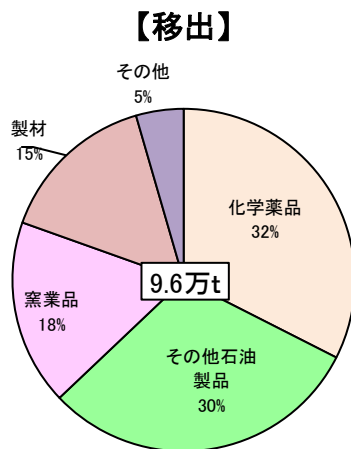
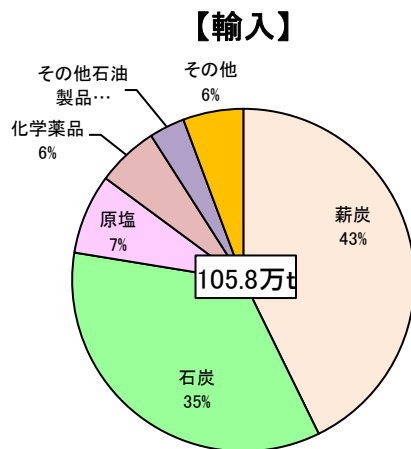
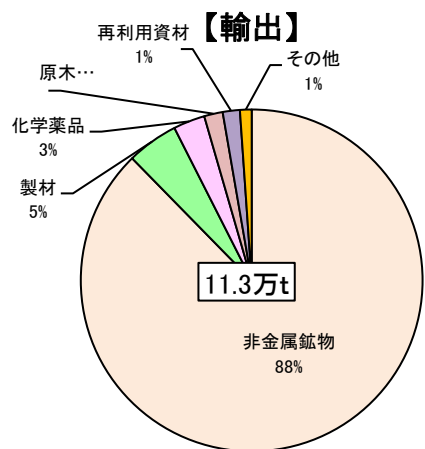
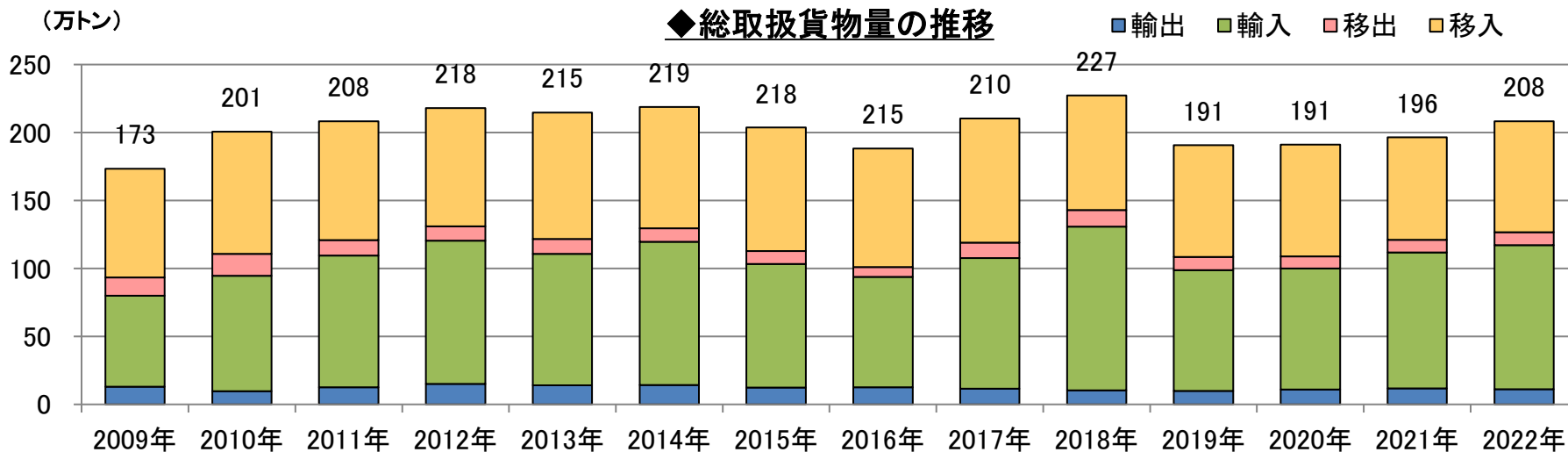


三池港の取扱貨物量

- 輸入の約5割を占める石炭は、火力発電所である※(株)三池火力発電所及び自家発電燃料として利用する三井化学(株)等への供給が主である。なお、(株)シグマパワー有明三川発電所では、2017年3月以降は「石炭発電」から「バイオマス発電」へと移行している。
- 背後の大牟田市には、三井化学(株)をはじめとする工場が立地しており、製造された化学薬品(自動車のシートクッション、リチウムイオン電池の材料など)や、その他石油製品(電極材料など)、窯業品(ファインセラミックスや電子材料など)が三池港を利用して輸送されている。

【※(株)三池火力発電所は、(株)シグマパワー有明から売却され設立した会社(平成29年3月より)】

◆総取扱貨物量の推移



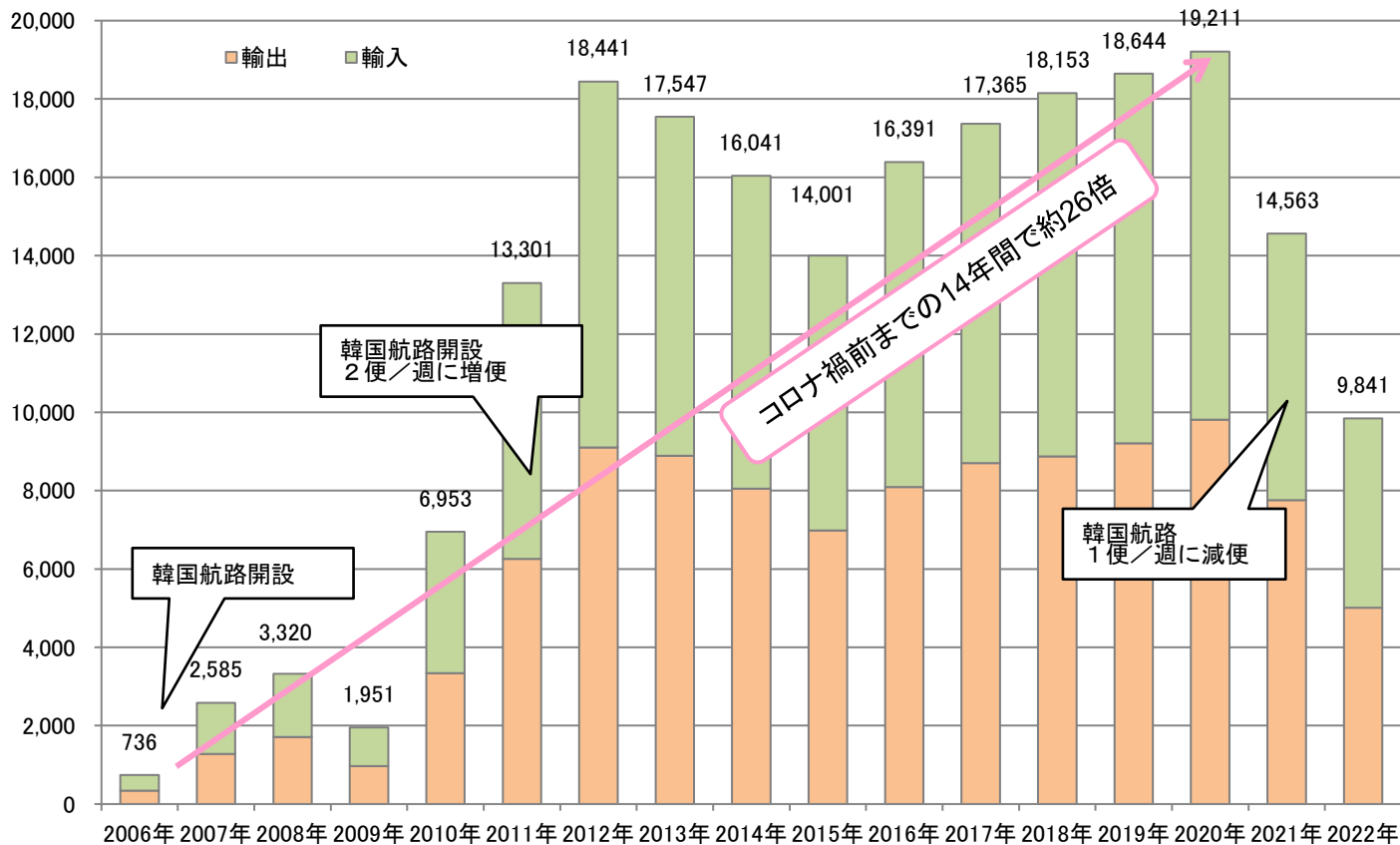
三池港のコンテナ取扱貨物量

●国際コンテナ取扱貨物量は2020年は過去最高を記録していたが、新型コロナウイルス長期化の影響によるコンテナ不足や、燃料高騰による海上運賃高騰のため2021年、2022年は減少傾向となった。

●主な輸出品目は化学薬品であり、輸入は4割以上を家具装備品(大川市内の家具企業等)が占めている。

◆国際海上コンテナ取扱貨物量の推移

(単位:TEU)



◆国際コンテナ取扱貨物の内訳

